1981年7月31日のシベリア日食概況 (2)

=日本国内の予報 =

山 本 威一郎

前号では、シベリアを中心とした食概況について説明しましたので、今回は、日本国内における予報をお知らせします。

日本では、北海道から沖縄にかけて部分日食が見られるわけですが、北に行くほど食分が大きくなります。(1図参照)。 食分が80%を超えると、昼間とは言え、周囲はうす暗さを増し、いわゆる日食らしい現象も多くなって来ます。気温も3~4程低くなり、まるで太陽が遠ざかったかの様な雰囲気になります。動物達の動きも、何かソワソワしてる様な気もします。こんな貴重な体験は、国内でも、そうめったにあるものではありません。 夏休みの北海道旅行を兼ねて、遠征してみてはいかがでしょうか。今世紀、日本での皆既日食はありませんが、比較的大きな部分日食でも次の3件しかありません。

1987年9月23日 正午前。 全国で中規模。 沖縄で金環日食。

1988年3月18日 正午前。 全国で大規模。

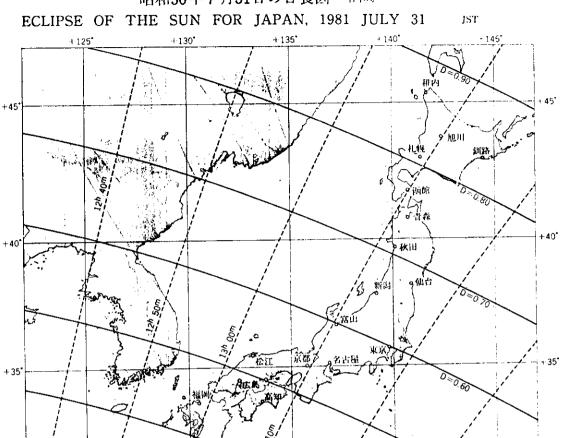
1997年3月 9日 正午前。 全国で中規模。

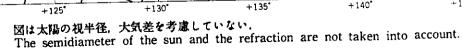
2 図、3 図には、今回の日食の全国各都市における食状況を示しました。食最大となる時刻が、13 時少し過ぎでもあり、太陽高度は、相当高くなりますので、観測には ちょっと骨が折れるかも知れません。

なお、第1接触と第4接触の時刻は、0.1分位のオーダの予報で充分間に合いますので、 $1\sim3$ 図を利用して、その他の都市の予報を出すことも、そうむずかしい事ではありません。 皆さん1つ工夫してみてはいかがでしょうか。 = 次号へつづく=

(注) 1図、2図、3図は、海上保安庁 水路部発行 「1981年天体位置表」から引用しました。

昭和56年7月31日の日食図 川木時





. 1

この線上では最大食分(D) が等しい.
Loci of the points where the maximum magnitude of the eclipse (D) are the same.

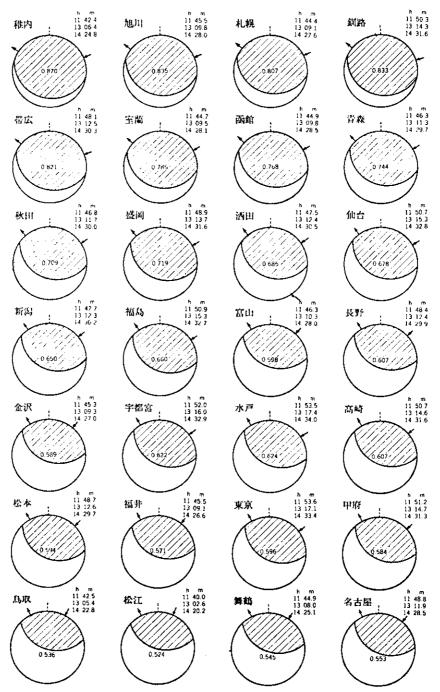
この線上では同時に最大食分になる.
Loci of the points where the maximum magnitude of the eclipse occures simultaneously.

+ 30 🖺

+ 25*

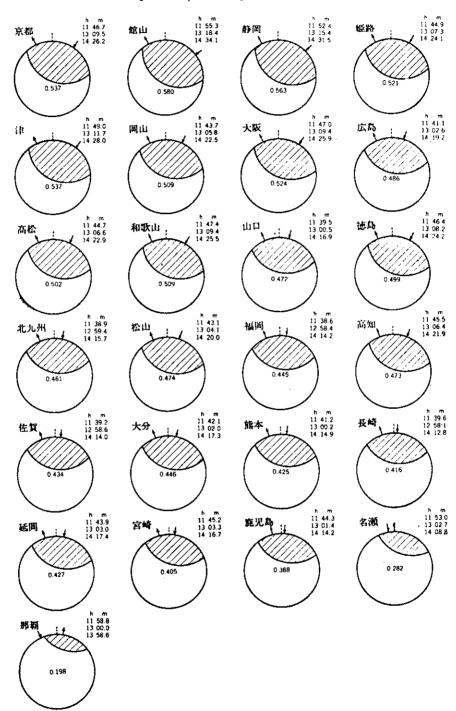
D = 0.10

昭和56年7月31日の日食 各地の状況 日本時 LOCAL CIRCUMSTANCES OF THE ECLIPSE OF THE SUN FOR JAPAN, 1981 JULY 31 JST



上段の数字は欠け始め、中段は食の最大、下段は食の終わりの時刻を示す。 円内の数字は食の最大のときの食分である。: の記号は天頂の方向を示す。

昭和56年7月31日の日食 各地の状況 日本時 LOCAL CIRCUMSTANCES OF THE ECLIPSE OF THE SUN FOR JAPAN, 1981 JULY 31 JST



上段の数字は欠け始め、中段は食の最大、下段は食の終わりの時刻を示す。 円内の数字は食の最大のときの食分である。: の記号は天頂の方向を示す。